

温泉の利用状況について

泉 質：アルカリ性単純温泉（低張性 アルカリ性 高温泉）

温泉成分の特徴：刺激が少なく、癖のない万人向きの温泉です。
（分析場所：源泉）

源泉の温度及び湧出量：49.4℃ 一リットル／分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：R2.12.4）

浴槽の種類とその状況：男湯、女湯（全て温泉水を使用）

循環、かけ流しの状況：かけ流し式
（浴槽に常に新しい温泉を注入してあふれさせています。）

加水の状況：入浴に適した温度に保つため、加水しています。

加温の状況：入浴に適した温度に保つため、加温しています。

新湯との入れ替わり状況：おおよそ3時間で入れ替わります。

入浴剤等の添加：なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況：毎日、完全にお湯を抜いて清掃しています。
シャワーは、年2回点検しています。また、年1回洗浄し、併せて消毒を行っています。

浴槽水の消毒状況：衛生管理を確実にを行うため、塩素系薬剤を投入し、浴槽内の塩素濃度を3時間毎に確認することにより細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度：日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に1回実施しています。

令和2年12月4日

施設名 湯の鶴温泉保健センターほたるの湯

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会